

平成26年度 学校関係者評価報告書

学校名：名古屋外語・ホテル・ブライダル専門学校

1 学校目標

- ・本学園の建学の精神である、社会から喜ばれる知識と技術を持ち、歓迎される人柄を兼ね備えた人材を育成し、科学技術・文化の発展に貢献する。
- ・知識・技術といった学生個々の能力を引き上げると共に、品格とホスピタリティ精神を兼ね備えた魅力ある人材を育成する。
- ・「夢をかたちに」を実現する。

学校目標に対する評価・意見

- ・専門学校として特色ある教育を行っている点は高く評価できる。今後は対外的に他校と戦い、勝つために教育成果の向上を目指すことが重要と考える。
- ・計画(P)→実行(D)→評価(C)→改善(A)のサイクルがしっかり機能しており、適切な運営、管理、改善がなされている。
- ・教育目標もはっきりしており、目標達成がそのまま教育成果の向上に繋がっている。

2 学校自己評価報告書について

学校自己評価報告書基準	学校自己評価報告書についての評価点の平均（4段階で評価）		
	自己評価の結果が適切か	改善に向けた取組みが適切か	今後の改善方策が適切か
基準1（教育理念・目的・育成人材像等）	4	3.7	3.7
基準2（学校運営）	4	4	4
基準3（教育活動）	4	3.7	3.7
基準4（教育成果）	4	3.7	3.7
基準5（生徒支援）	4	4	3.7
基準6（教育環境）	4	4	4
基準7（生徒募集と受け入れ）	4	3.7	3.7
基準8（財務）	4	4	4
基準9（法令等の遵守）	4	4	4
基準10（社会貢献）	4	4	4

3 今後の改善意見

- ・より資格取得の津力が上がるよう、教育方法、教科書の選定を図ってほしい。
- ・対外的に就職先の内容充実を図ることが、専門学校としての専門学校としての位置づけにとって重要である。
- ・教員の専門能力の向上が重要である。

4 今後の具体的な改善方策

- ・学生たちの専門能力向上のためには、まず教員の専門能力の向上が不可欠である。そのためには、教員の企業研修等を積極的に実施してゆきたい。
- ・教員の教育力向上のため、授業方法等についての学内研修を実施したい。
- ・教員による企業訪問等を積極的に実施したい。